

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-252746

(43)公開日 平成9年(1997)9月30日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 2 3 L 1/30			A 2 3 L 1/30	B
				A
				Z
1/302			1/302	
1/304			1/304	
審査請求 有 請求項の数 2 F D (全 3 頁) 最終頁に続く				

(21)出願番号 特願平8-93144

(22)出願日 平成8年(1996)3月22日

(71)出願人 595088713

日本環境薬品株式会社

東京都台東区秋葉原3-7

(72)発明者 水口 洋二

東京都台東区秋葉原3-7 日本環境薬品
株式会社内

(74)代理人 弁理士 若林 弘

(54)【発明の名称】 栄養補助食品

(57)【要約】

【課題】 本発明は、タヒボエキス及び天然ミネラルを含有することにより、不足しがちな栄養素やミネラルを身体全体に与えて健康増進に寄与することは勿論、血流促進を促して、育毛、脱毛防止を図ることができる栄養補助食品を提供するものである。

【解決手段】 錠剤タイプの栄養補助食品の成分及びその比率は、タヒボエキス粉末が30%、天然ミネラルが0.33%、醗酵ゴマ粉末が14.3%、牡蠣肉エキス粉末が4%、牡蠣殻粉末が10%、茶抽出物であるカテキンが1%、抽出ビタミンE粉末が8%、ヘスペリジンが1%、プロポリスエキス粉末が10%、牛プラセンタエキス粉末が2%、セルロースが13.43%、大豆・米醗酵液が0.04%、コーンスターチ（人工澱粉）が3%、馬鈴薯澱粉が0.3%、香料が0.6%、ショ糖脂肪酸エステルが2%、となっている。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 タヒボエキスと、天然ミネラルを含んだことを特徴とする栄養補助食品。

【請求項2】 タヒボエキス粉末と、天然ミネラルと、醗酵ゴマ粉末と、牡蠣肉エキス粉末と、牡蠣殻粉末と、カテキンと、抽出ビタミンE粉末と、ヘスペリジンと、プロポリスエキス粉末と、牛プラセンタエキス粉末と、セルロースと、大豆・米醗酵液と、を含んだことを特徴とする栄養補助食品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、タヒボエキス及び天然ミネラル等を含んだ栄養補助食品に関する。

【0002】

【従来の技術】人間は毎日食事により必要な栄養素やミネラルを摂取しているが、毎日の食事だけでは各種栄養素やミネラルが不足しがちである。そこで、従来より、食事で不足しがちな栄養素やミネラル等を補うために各種の栄養補助食品が提案されている。ところで、最近、タヒボエキスや天然ミネラルが健康増進に好影響を及ぼすことが知られてきている。しかし、この優れたタヒボエキスや天然ミネラルを共に含有してなる栄養補助食品は提案されていない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明者は上記事実を鑑みなされたものであり、タヒボエキス及び天然ミネラルを含有することにより、不足しがちな栄養素やミネラルを身体全体に与えて健康増進に寄与することは勿論、血流促進を促して、育毛、脱毛防止を図ることができる栄養補助食品を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、タヒボエキスと、天然ミネラルを含んだことを特徴としている。請求項2の発明は、タヒボエキス粉末と、天然ミネラルと、醗酵ゴマ粉末と、牡蠣肉エキス粉末と、牡蠣殻粉末と、カテキンと、抽出ビタミンE粉末と、ヘスペリジンと、プロポリスエキス粉末と、牛プラセンタエキス粉末と、セルロースと、大豆・米醗酵液と、を含んだことを特徴としている。

【0005】

【発明の実施の形態】錠剤タイプの本発明に係る栄養補助食品を構成する成分及びその比率は、タヒボエキス粉末が30%、天然ミネラルが0.33%、醗酵ゴマ粉末が14.3%、牡蠣肉エキス粉末が4%、牡蠣殻粉末が10%、茶抽出物であるカテキンが1%、抽出ビタミンE粉末が8%、ヘスペリジンが1%、プロポリスエキス粉末が10%、牛プラセンタエキス粉末が2%、セルロースが13.43%、大豆・米醗酵液が0.04%、コーンスターチ（人工澱粉）が3%、馬鈴薯澱粉が0.3%、香料が0.6%、ショ糖脂肪酸エステルが2%、と

なっている。前記タヒボエキス粉末は、ブラジルに自生するノウゼンカズラ科の樹木であるタヒボの樹皮から抽出されたもので、ビタミンやミネラルを多く含み、抗炎症作用、神経伝達改善、貧血改善作用等に特に効果がある。また、前記天然ミネラルは、アメリカ合衆国ユタ州のシーアンドエムラボラトリーズ（C&M LABORATORIES）社製の天然ミネラル水を輸入して水分を蒸発させてなるものである。前記天然ミネラル水はアメリカ合衆国ユタ州の湧水又は地下水で、この湧水又は地下水には埋蔵されている世界最良の濃縮天然ミネラルが溶け込んでいるものである。前記天然ミネラルは微量ミネラルである鉄、クロム、モリブデン、マンガン、亜鉛、バナジウム等の源となっている。また、この天然ミネラルは、ビタミン類や酵素類等の働き等を最大限に引き出す作用をする。前記醗酵ゴマ粉末は、脱脂ゴマフレークを醗酵処理して難消化性の硬い細胞膜を破壊して腸内吸収を容易にした有機セレンを多く含有するものである。しかも、微量ミネラルであるセレンを高濃度に含有すると共に抗酸化作用を有するセサミンやセサモリンを含有している。また、前記牡蠣肉エキス粉末は、亜鉛を多く含むと共に解毒作用効果がある。前記牡蠣殻粉末は、炭酸カルシウム源、カルシウム源となる。また、カテキンは茶の抽出物でツバキ科の葉から抽出し、ビタミンEを働かせたり、抗酸化作用を有する。前記抽出ビタミンE粉末は、ビタミンE源として血流促進、老化防止、抗酸化作用がある。また、前記ヘスペリジンは、ミカン科のグレープフルーツ等の果皮、果汁又は種子より水等で抽出されて得られたものであり、ビタミンP源として毛細血管強化、抗酸化作用、消臭効果、抗炎症作用がある。前記プロポリスエキス粉末は、ブラジルから輸入したものであり、蜜蜂の巣よりエタノール等で抽出したプロポリス抽出物から製造されたものであり、様々な生理を活性化させ、酸化防止、抗菌作用、解毒作用、免疫賦活作用がある。また、前記牛プラセンタエキス粉末は、牛の胎盤から造られたものであり、細胞賦活、ホルモンバランス調整等を行う。前記セルロースは、パルプ等繊維を均質化処理して、微小繊維状にして得られたものであり、食物繊維として腸運動等に有用であると共に成型性作用を有し、硬度性が高くなる。また、前記大豆・米醗酵液は、抗菌作用、抗酸化作用等がある。前記コーンスターチ（加工澱粉）及び馬鈴薯澱粉は、加工成型助剤として作用する。また、前記香料は、風味と味付けとして作用する。前記ショ糖脂肪酸エステルは、成型助剤及び打錠時の滑沢剤、光沢剤として作用する。

【0006】次に、錠剤タイプの前記栄養補助食品を1ロット（重量にして100Kg）を製造する場合の製造方法及び製造工程を説明する。まず、セルロースを13.43Kg、天然ミネラル水を15Kg、大豆・米醗酵液を1Kgをよく混合、乾燥（この乾燥により天然ミネラル水の水分は蒸発する）させて粉碎粉末を造る。次

に、上記粉碎粉末にタヒボエキス粉末を30Kg、醗酵
ゴマ粉末を14.3Kg、牡蠣肉エキス粉末を4Kg、
牡蠣殻粉末を10Kg、カテキンを1Kg、抽出ビタミンE
粉末を8Kg、ヘスペリジンを1Kg、プロポリス
エキス粉末を10Kg、牛アラセンタエキス粉末を2Kg
、コーンスターチを3Kgを加えてよく混合し、流動
層造粒方式により馬鈴薯澱粉0.3Kgに熱水を加えて
糊化した馬鈴薯澱粉液を噴霧しながら顆粒を造る。次
に、摂氏温度約80度の熱風を約30分当てて乾燥させ
た後に、香料を0.6Kg、ショ糖脂肪酸エステルを2
Kgを加えて、よく混合させる。最後に、前記顆粒を直
径5mmの円形タブレット(100mg/粒)に打錠し
て製品が完成する。

【0007】なお、顆粒タイプの栄養補助食品を製造す
る工程は以下の通りである。タヒボエキス粉末が30
%、天然ミネラル水(天然ミネラル水の水分を蒸発させ
た後天然ミネラルが0.33%になる分量)、醗酵ゴマ
粉末が14.3%、牡蠣肉エキス粉末が4%、牡蠣殻粉
末が10%、茶抽出物であるカテキンが1%、抽出ビタ
ミンE粉末が8%、ヘスペリジンが1%、プロポリスエ
キス粉末が10%、牛アラセンタエキス粉末が2%、セ
ルロースが13.43%、大豆・米醗酵液が0.04
%、コーンスターチが3%、馬鈴薯澱粉が0.3%、香
料が0.6%の割合にて混合機で、よく混合し粉体を造
る。次に、前記粉体に対して95%エタノールを10～
20%、粉体に対して水を5～10%の割合で添加し
て、混合機でよく混合する。そして、押出し造粒機にて
バスケットメッシュ0.6～1.0mm/mmで押し出
して顆粒を造る。最後に、棚式乾燥機で摂氏50度～6
0度の温度で4～18時間乾燥させ、粉や塊を除去する
整粒作業を行って製品が完成する。

【0008】次に、実施例の作用について説明する。本
発明に係る栄養補助食品を有効に摂取するには、一つの

目安として栄養補助食品を一日約10g食べる。また、
一日3回に分けて、しかも空腹時に食べるのが吸収が良
く効果的である。前記栄養補助食品を食べることによ
り、栄養補助食品に含まれている各種栄養素やミネラル
が身体の各部位に行きわたり、これにより食事等で摂取
している栄養素やミネラルの不足分を補い、健康増進に
大きく寄与することになる。また、栄養補助食品を含ま
れている血流促進作用を行う成分により、髪の毛の毛乳
頭への栄養促進を図ることにより、髪の毛を育毛すると
共に光沢を与える反面、抜け毛、蒸れ毛、フケ、痒みを
防止して髪の毛や頭皮の正常維持を図ることができる。
しかも、栄養補助食品に含まれている抗ストレス作用を
する成分により脱毛、白髪を防止することができる。ま
た、栄養補助食品に含まれている抗酸化作用を行う成分
により、身体の酸化が老化防止を図ることができる。更
に、栄養補助食品に含まれている解毒作用を行う成分に
より、毒素、老廃物の肝臓、血管系への沈殿防止、代謝
促進により解毒作用を図ることができる。また、栄養補
助食品は肩凝り、不眠症、高血圧、低血圧、胃腸の弱い
人にこれらの症状を改善する作用がある。

【0009】なお、前記実施例では栄養補助食品の成分
割合としてタヒボエキスを30%としたが、タヒボエキ
スの成分割合は30%以上であることが好ましい。ま
た、前記実施例では栄養補助食品は錠剤タイプ及び顆粒
タイプのものを示したが、液体タイプに製造してもよい
ことは勿論である。

【0010】

【発明の効果】以上説明した如く、本発明に係る栄養補
助食品は、食事等で取る栄養素を補助して不足がちな栄
養素等を身体の各部位に与えて健康増進に寄与すると共
に血流促進作用や抗ストレス作用等により髪の毛の抜け
毛防止や白髪防止等をすることができるといった優れた効
果を有する。

フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
A 2 3 L 1/308			A 2 3 L 1/308	
// A 6 1 K 31/355			A 6 1 K 31/355	
			31/70	
			31/715	
			33/06	
			33/24	
			35/50	
			35/56	AD S
			35/64	
			35/78	AD A